

キャンパス散歩

薬学系研究科附属薬用植物園

折原 裕 大学院薬学系研究科 助教授



武線新検見川駅北口を出て北へ10分ほど歩くと検見川総合運動場の南側に着く。左に曲がり運動場沿いに西から北へ行くと、やがて農学生命科学研究科附属緑地植物実験所の正門が見えてくる。さらに運動場沿いに北へ進むと運動場西北端の十字路に着くので、左に曲がる。ほどなく薬用植物園の正門(写真1)に着く。

附属研究施設としての薬用植物園は1973年 に正式に附属施設となったが、施設の整備は さかのぼることさらに10年前から始められた。 最初は圃場整備のための開墾作業が教職員、 学生の有志の手で行われた。1965年には旧学 寮浴室を管理棟(写真2)として改築し、技 官1名が常駐するようになった。その後、第 1、第2簡易温室(現在の温室の前のもの) の完成を経て、1973年には実験実習棟(写真 3) が完成した。さらに、1974年には旧第2 温室が、1982年には現在の第1温室(写真4) が完成した。2001年には老朽化していた第2 温室の改築(写真5)が行われた。施設の整 備と平行して植物の導入が行われた。当初若 木の苗を移植したものもすでに30年以上たっ ており鬱蒼とした林を形作っている。中でも ニッケイ、キハダの本数が多い。

さほど広くない園内ではあるが、四季折々に見せる表情は異なっている。その中でも美しい花を咲かせる薬用植物を早春から時間を 追って紹介していこう。

早春、梅の花が咲く頃ニッケイの林の下の オウレン(写真6)が開花する。オウレンは キンポウゲ科の多年草で、その根茎にはベル ベリンをはじめとするアルカロイドが含まれ、 苦味健胃薬として使われ、多くの漢方処方に も配合されている。

4月になると第2温室裏の木陰のアミガサユリ(写真7)が茎を伸ばし開花する。アミガサユリはユリ科の多年草で、その鱗茎をバイモと呼び、鎮咳、去痰に用いる。地上部は初夏になると枯れてしまう。

5月の連休頃実験実習棟裏のホウノキ(写 真8)が開花する。ホウノキはモクレン科の 落葉高木で樹皮をコウボクと呼び、鎮痛、鎮 痙薬として使用する。ホウノキと前後して実 験棟横の圃場ではボタン、シャクヤクが開花 する。両者ともボタン科に属し、園芸植物と しても多く栽培されている。薬用としてはそ の根皮あるいは根を鎮痛、解熱薬として婦人 病関連の疾患に用いる。

梅雨時から夏にかけて正門横のキキョウ(写 真9)が開花する。根にキキョウサポニンを 含み、鎮咳去痰薬として使われる。

夏の強い日差しの下、第2温室横のカンレンボクの変わった花(写真10)が開花する。 秋には金平糖のような果実をつける。樹皮にカンプトテシンというアルカロイドを含み、 抗ガン剤として用いられる。

第2温室横のフェンス内には鉢植えのムラサキ(写真11)が有り、初夏から秋まで白色の小花を咲かせる。ムラサキの根はシコンと呼ばれ、シコニンをはじめとするナフトキノン誘導体を含み、解熱、解毒、抗炎症薬として用いられる。また、外用薬としての紫雲膏も有名である。絶滅危惧18類。

温室内は暖房しているので四季がないかというとそういうことはなく、日照や夏の暑さにより1年のサイクルが決まっている。4月頃、葉が出る前に第1温室内ではガジュツのピンク色の花(写真12、ピンク色の部分は花ではなく苞葉)が咲く。ガジュツはショウガ料に属しその根茎を芳香性健胃薬として用いる

第2温室の入り口付近にはインドジャボクがほぼ年間を通して咲いている(写真13)。インドジャボクはキョウチクトウ科に属し、その根にレセルビンをはじめとするインドールアルカロイドを含み、降圧剤として用いられる。

第1温室には数本のカカオの木がある。こ こ数年毎年実をつけているが決まった1本の 木にしか実が着かない(写真14)。カカオの 花期は夏で、幹から直接多数の小花を出すの が特徴であるが、結実率が低い。

花や果実の目立つ薬用植物を紹介してきたが、個々の植物の旬の時期は短いものも多い。 やはり春先と秋口が花の種類が多いので、学 部学生の薬用植物園見学実習は5月下旬に行っている。また、薬剤師研修センターの行っている漢方薬・生薬認定薬剤師の植物園研修にも春秋2回協力している。

薬学系研究科では2004年10月、総合研究棟の第1期工事の際に、講堂屋上部分に屋上緑化の施設としては初めての薬用植物園(写真15)を設けた。面積は約100㎡と狭いが、屋上緑化としては破格の深さ60㎝の軽量土壌に自動潅水を備えている。現在数十種類の薬用植物が栽培され、検見川の植物を順次移植している。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15

- 1. 附属薬用植物園正門
- 2. 管理棟
- 3. 実験実習棟
- 4. 第1温室
- 5. 第2温室6. オウレン
- 7. アミガサユリ
- 8. ホウノキ
- 9. キキョウ
- 10. カンレンボク
- 11. ムラサキ
- <u>12.</u> ガジュツ
- 13. インドジャボク
- 14. カカオ
- 15. 屋上緑化薬用植物園(本郷)

